

明書

比島 木蓮成業 九三部隊 中隊
海上挺進 第十一 隊

陸軍 伍長

右者 昭和二十年三月一日 午後五時 比島ル公島 二於テ

腹部 首母 依少 戦死 (戦時 花) ロルコトヲ 現認ス

昭和二十年十一月八日

現認者 元 威第 九三部隊 中隊 陸軍 伍長

氏 姓名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

下

5-11

戦歿者確認(證明)書

一、死歿者所屬部隊名(通稱號)

第一〇六六工部隊

陸軍第八師

一、徵集年

昭和二十一年

役種

現役

兵種

歩兵

一、官等(死歿前)

上等兵

(死歿後)

一、氏名

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

日生

一、死歿場所

南朝鮮ルソン スモロガ駅

一、死亡區分

戦死

精鋭部隊中敵襲

中胸部貫通銃創あり戦死

一、死歿年月日時

昭和二十一年

三月

日

一九九〇年

一、死歿者本籍地留守担当者

[Redacted]

右確認(證明)書

昭和二十一年一月十日

元所屬部隊名

第一〇六六工部隊

現住所

[Redacted]

元官等級

[Redacted]

功績
在野山にて敵軍を退却せしめ、
戦死したる者なり。

地方自治協議会

ナツタ者ハンノ前長

戰死證明書

一、戦死者本籍地

戸主名続柄 戸主 [redacted] 男

氏名

[redacted]

年 月 日 生

1944-11

二、所属部隊名

比島派遣隊 第五重砲隊 [redacted] 小隊

三、戦死者徵集年 [昭和] 年 [役種現役] [兵種步兵] 死亡前官等級 [陸軍上] 任官年月日 [昭和] 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 比島 [redacted] 戦死 昭和 [redacted] 年 月 日

五、戦死現認ノ程度 戦死 [redacted] (余ノ)

六、遺骨歸還ノ有無 有

七、戦死當時ノ状況ノ概要 追撃中死 [redacted]

八、死亡区分 戦死 事由 [redacted] 昭和 [redacted] 年 月 日

九、其ノ他 (葬期地ノ決定ハ死亡届提出後ニ依リ申立テ、所屬部隊管理班、) 申立済ナルハ上陸年月日及上陸地

三、遺族ノ現住所

[redacted]

戦死者ノ続柄

氏名

[redacted]

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 [redacted] 年 [redacted] 月 [redacted] 日

證明者住所

[redacted]

戦死者ノ關係

所属部隊名

比島派遣隊

兵種 砲兵 官等級 陸軍 辺長

氏名

[redacted]

印

市町村証明箇所

現認證明書

此處派遣相第一二三部隊 [redacted] 隊

陸軍上等兵

右者昭和二十年三月二日

ラウヤク
北方中

ニ於テ

戦 [redacted] 戦死(戦病死)セリトシテ現

認又

昭和二十年九月一日

現認者元相第一二三部隊

[redacted] 隊

陸軍 階級 少尉

現任所

氏名

[redacted]
[redacted]

戦死証明書

一、戦死者本籍地

戦死不明者

戸主名額柄

戸主名

氏名

年

月

日

54-10

二、所属部隊名 派遣部隊 第三〇 部隊

三、戦死者後継年 昭和 年 役種現役 兵 死亡前官等級陸軍 昭和 年 月 日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和 年 月 日 (イリカ)

五、戦死現認ノ程度 戦死不明者

六、遺骨歸還ノ有無

七、戦死當時ノ状況ノ概要

戦死不明者 昭和 年 月 日 戦死不明者

八、死亡區分 戦死 事由 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地ニ於テ死亡者戦死者ニ依リ申立テ、部隊遺棄(第五)申立者ナラバ上陸年月日及上陸地)

一〇、遺族ノ現在所

戦死者ノ額柄

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戦死者ノ關係

所属部隊名

兵種軍紀 官等級 陸軍上下兵

氏名

市町村長證明箇所

死亡證明書

所屬部隊 通稱號 飛行第二十六戰隊 第八三九九部隊

役種 兵種

現 航

死之直前之官号 名

役 空 陸軍大尉

本籍地

留 守 現住所

擔當者 續柄氏名

実母

死亡年月日時 昭和二十年三月四日

死亡場所 北ノソノ島マニラ市東方マリキナ

死亡區分 戦 死

三月四日マニラ飛行場在空に墜落し、米軍の攻撃を受け、降参戦中、絶命化し、直撃を受け、戦死を遂げ

中華民國二十一年十一月十一日
飛名表(飛名表) (飛名表)

遺留馬之狀況

戰隊在力時和知十九年十一月五日明野之轉進圖右和知十九年二月四日和南之移動
本人口遺留遺留馬之狀況取得一詳示

證明致上書

昭和二十一年十一月十一日

證明書本籍地

現住所

所屬部隊 飛行第六戰隊

官 等 階 軍 少 佐

現之職務及對策

職務職名

整備隊長

氏 名

[Redacted Name]

印

職長

戦死者確認證明書

昭和 年 月 日

係長

固有部隊名

三城通 一中隊

通稱號

主任

死亡前階級

一等兵

死亡後階級

兵長

氏名

係長

徵集年

昭一八

役種

現役

兵種

連位

年 月 日生

主任

留守擔當者

主任

続柄氏名

父

左

死亡日

右の昭和 年 月 日

時 分

於て

場所事由

了天六、事務所に依り戦死を認めす

に於て

1. 遺言

3. 戦場書類

2. 遺留品

其の他

現認

依頼

(通知)

現住所

[Redacted]

所属部隊

[Redacted]

(職別)

姓名

[Redacted]

戦時死亡者現認證明書

所屬部隊		死	
1807 (期)		亡	
27 = 航空隊 (隊)			
昭和 3. 5			
此島に 東南 方 に 降 下 し た		場 所	
戦死		分 区	
敵 軍 の 火 力 に 殺 害 さ れ た		山 地	
		特選(品留遣)	
大尉		徵集年	
現		官等級	
上陸		前令日	
		死年月	
		死後	
氏名		氏名	
生年月日		生年月日	
		木 籍	
現住所		留守地 氏名	
		現住所	

右現認す

昭和二十年一月二〇日

現住所

所屬部隊

官等級氏名

上陸地名

上陸地支部に於て連絡済や否や

上陸月日

- 圖上の注意
- 一、所屬部隊は通稱固有部隊名をも列明程度に記入のこと。
 - 二、死亡欄は出来得る限り詳細に特に山、樹名、遺物(空缶)入院年月日入院病院名及其の他参考資料併せ記入のこと、記事多き場合は附屬添付記入のこと。
 - 三、遺竹(遺前品)欄は有無の有無は如何處にありや(現地、上陸地支部、留守地支部)記入のこと。
 - 四、捺印を忘れぬこと。
 - 五、同一人に対し二部複製のこと。

服		履		靴		手袋		帽子		その他	
年	月	日	年	月	日	年	月	日	年	月	日

戦時死亡者現認證明書

昭和二十二年六月二十日		現住所	
所属部隊		[Redacted]	
戦時死亡年月日		[Redacted]	
戦時死亡場所		[Redacted]	
戦時死亡原因		[Redacted]	
(品留遺)骨遺		[Redacted]	
兵 役 徵 集 年		[Redacted]	
前 亡 死 遺 年		[Redacted]	
後 亡 死 遺 年		[Redacted]	
氏 名		[Redacted]	
生 年 月 日		[Redacted]	
本 籍 地		[Redacted]	
留 守 備 當 者 現 住 所		[Redacted]	
(親 類) 氏 名		[Redacted]	
現 住 所		[Redacted]	

右現認す

所属部隊 [Redacted] 官等級氏名 [Redacted]
 上陸地名 [Redacted] 上陸地支局に於て連絡済や否や [Redacted]
 上陸月日 [Redacted]

- 一、所属部隊は通稱固有部隊名をも併明程度に記入のこと
 二、死亡欄は出来得る限り詳細に特に事由、傷病名、遺病(受傷)入院年月、日入院病院名及其他参考資料併せて記入のこと、 equal 多き場合は附添紙付記入のこと
 三、遺骨(遺留品)欄は有無有る場合は何處にありや(現地、上陸地支局、留守地等)記入のこと
 四、親印を忘れぬこと
 五、同一人に對し二部開票のこと

履 歴		年 月 日	記 事	年 月 日	記 事	年 月 日	記 事	年 月 日	記 事
昭	昭		入營、應召()	昭	昭		勤務の状況	昭	昭
昭	昭		出陣	昭	昭			昭	昭
昭	昭		帰陣	昭	昭			昭	昭
昭	昭		(入隊以後の進級階級)	昭	昭			昭	昭

47-11

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明

昭和二十二年

月

日

才田航空軍獨立第七機関隊

陸軍陸軍兵長(死亡前)

ポソノ (マニラ東北二十四号)

痰死

昭和二十二年三月五日 十三時

マラリヤ及胃腸病(発病二月十日)

現住村ニ同じ

妻

する

遺囑者住所

元所屬官氏名

才田航空軍獨立第七機関隊隊員



12-12

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明

昭和二十二年

現認者住所

元所屬官氏名

高取支隊 第七機関隊

陸軍下兵 (死亡前)

ホノノ (マニラ東北二丁四十八)

病死

昭和二十年三月五日 丁酉三〇分

マラリヤ

現住所 同ト

妻

する

元所屬官氏名 高取支隊 第七機関隊 隊員

陸軍中尉

24-11

現認(死亡)証明書

昭和 年 月 日

地方世話部

所屬部隊 固有名称	種 役	種 兵	種 官	種 死	種 死	氏 名	生年月日	死亡年月日時	死亡場所	死亡區分	發(受)預(傷)年月日	死 亡 時 刻	死 亡 狀 況
	前 亡	後 亡	前 亡	後 亡									
船工兵隊 第三四聯隊						ルソン島		昭和 年 月 日	ルソン島	戦死	昭和 年 月 日		ルソン島ルンバンに於て敵と遭遇し、際死す。
通稱											准士官以上 任官年月日		遺留品の有無

右證明候也

昭和 年 月 日

地方世話部長

殿

所屬部隊
現任所
官等級氏名印

船工兵隊 第三四聯隊

50-10

現

認

書

本籍地

部隊名

官等氏名

死亡年月日

死亡場所

死亡区

死亡理由

右

現

認

現認者

本籍地

部隊名

官等氏名

昭和十六年三月五日

隊

比島激進隊本部

陸軍衛生兵長(死前階級)

昭和十六年三月五日 武拾時頃

ルソン島バタカース州ベヒデ島パコ附近

戦死

迫真砲弾ニ依ル

162-10

死亡現認書

死者	本籍地	[Redacted]		
	現住所	岡本		
	所属部隊名	陸軍第XX師団		
	官階	兵	[Redacted]	
	死亡年月日時	昭和XX年X月X日	時	分
	死亡場所	[Redacted]		
	死亡区分	戦死	病死	他
遺体、遺骨の状況	[Redacted]			

右現認す

現認者
本籍地 [Redacted]
現住所 [Redacted]

死者との関係

所属部隊

元職官氏名印

記載上の注意

1. 本票は甲種、乙種、丙種、丁種に別れる。
2. 死亡年月日は所定の日付に記入する。
3. 死者との関係は、[Redacted]に記入する。

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

陸軍

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明

昭和三十二年

三月十九日

現認者住所

元所屬官氏名

右同

第一〇三師團第五歩兵第七六大隊銃砲隊

工兵兵 (死亡前)

比島世部ルン志アアラ洲セジガン

戦死

昭三 3. 5 二時頃

銃頭部貫通銃創

本籍地 同

妻

する

昭和三十二年

三月十九日

元所屬官氏名

第一〇三師團第五歩兵第七六大隊銃砲隊陸軍衛生部長



姓名	死亡原因	死亡日期	死亡地点	死亡原因	死亡日期	死亡地点	死亡原因	死亡日期	死亡地点
...	胸部中彈	昭和二十三年五月五日	...	胸部中彈

昭和二十三年五月五日

...

15-10

昭和二十一年 月 日 全第 號

地方世話部 死亡者 認定 調査 票

昭和二十一年 月 日 調製

所屬部隊名 獨逸五五旅砲兵一中

年集徴 17 種 兵 歩 級等官 一 死亡年月日時 昭和20年3月6日 死亡場所 比島セテ島セ下陸病

死亡原因 戦傷 死亡名 氏名 父 氏名

現住 同本籍地 氏名

威一七六二部隊より前赴病院に入り現(19.9)退院(19.11) 後兵站宿舍に居り部隊道及去来下、戦場補給大隊に

假編入再変入院(20.1) マリヤ兼脚氣に20.3.6 2/20整可 貴骨は現地に於て埋葬され無し 右同病院に同時入院しありて現認す

被混五五旅団砲兵一中隊

陸軍上等兵 級等 中隊 (印) 印檢点 認定進級告知記録

印檢点 認定進級告知記録

- ス微乱
- ス七登保
- ス消抹
- シ消抹

修年名簿頁



No.

録

戦死現認證明書

本籍地

所屬

比島派遣盟兵團 部隊

陸軍上等兵

右者昭和 貳拾年 参月 六日 比島

比島北ルソン島

キヤンプ 2 胸郭破裂 於テ 戦死セシフトシ 現認ス

昭和二十二年 一月 貳拾日

元 比島派遣盟兵團 部隊

陸軍上等兵

現住所

地方世話部

54-11

死亡者現認證明書

昭和二十一年五月廿五日

所屬部隊 陸軍省 第一航空情報隊

威一八九一大部隊

本籍地

徵和 九平 二國 步兵 下兵

人

死亡年月日時刻 昭和二十一年七月

死亡場所 比島呂宋島イボ

死亡區分 戰死

死

胸部砲彈破片創

發覺(病) 遺失

留航公第 122 號 昭和二十一年七月

現住所

遺骨遺品 遺失

遺失

十

遺失

十

所屬部隊 陸軍省 第十航空情報隊

官階 陸軍兵長

昭和二十一年五月廿五日 陸軍省 陸軍省 陸軍省

港

77

石	死亡考	傷	死亡	死亡	氏	官	職	死	亡
現	者	病	亡	年	名	等	職	年	日
年	考	病	亡	月	名	等	職	月	時
月	者	病	亡	日	名	等	職	日	分
日	考	病	亡	時	名	等	職	分	分
	者	病	亡	間	名	等	職	分	分
	考	病	亡	間	名	等	職	分	分
	守	傷	死	死	氏	官	職	死	亡
現	考	病	亡	年	名	等	職	年	日
年	者	病	亡	月	名	等	職	月	時
月	考	病	亡	日	名	等	職	日	分
日	者	病	亡	時	名	等	職	分	分
	考	病	亡	間	名	等	職	分	分
	考	病	亡	間	名	等	職	分	分
	考	病	亡	間	名	等	職	分	分
	考	病	亡	間	名	等	職	分	分

元現元
 石現元
 年現元
 月現元
 日現元
 石現元
 年現元
 月現元
 日現元
 石現元
 年現元
 月現元
 日現元

頭部不純通貫通

10-10

死亡證明書

死 所屬部隊 死亡場所

本籍地 死亡年月日

死亡前階級 死亡原因

氏名 受傷箇所

遺骨遺留品 備考

昭和30年7月モントラルバシ北方山地に於て敵機に射撃され胸部に銃創を負ひ戦死す
右現認あり

現認事由

記号

記載事項

注

一 本證明書は三箇複製す
一 階級は必ず死亡前を記載す
一 死亡原因は戦死、病死、天傷、自決、戦病死、時病、病名、發病年月日、記入す
一 所屬部隊は正式番号(支隊、小隊)を記入す

證 元所屬部隊 比島旅団連隊三番隊

本籍地

現住所

階級氏名

備考 氏名、下に必ず捺印す
故人との関係は戦友、主任、小隊長等、別紙記入

60-4

戰死證明書

一、戰死者本籍地

戶主名 姓 氏 名

氏名

年 月 日生

二、所屬部隊名

三、戰死者徵集年月日

四、戰死年月日時刻及場所

五、戰死原因、程度

六、遺骨降還の有無

七、戰死當時の状況

八、死亡區分

九、其の他

十、遺族現住所

戰死者(遺族) 氏名

氏名

右ノ通り戰死セラレタルコトヲ證明候也

昭和 年 月 日

證明者住所

戰死者ノ關係

所屬部隊名

兵種 官等 階級 軍 任 務

氏名

市町村長證明箇所

右相違無事を証明す

現認證明書

本籍地
現住所

所屬部隊 才田航空軍一旅才七機因破隊

官氏名 陸軍上軍兵死亡前

死亡場所 ハンター(マニラ東北才田口)

死亡區分 爆死

死亡日時 昭和二十年三月十日

死亡傷(病)名 胸部貫通

留守擔當者住所 現在新田

續柄氏名 妻 [Redacted]

右證明する

昭和二十二年 月 日

現認者住所

元所屬官氏名

才田航空軍一旅才七機因破隊付

18-11